

■ 平成 27 年度 定期総会

5月20日（水）、栃木県薬事工業会の平成27年度定期総会が、宇都宮市上大曾町の「ホテル東日本宇都宮」にて開催されました。

松谷会長のあいさつに続き、優良従業員表彰式が開催されました。

今回は、当会会員の各企業において、長年勤務し、その成績が他の模範となる31名の方々が受賞されました。富永副会長から受賞者選考経過の説明があり、会長から受賞者代表の方へ表彰状と記念品を贈呈いたしました。受賞者を代表して、シミックCMO足利株式会社の高橋俊行氏から謝辞がありました。

続いて、議事に移り、当会の規約により会長が議長となり、まず、事務局から出席者の報告（正会員52社のうち、出席33社、委任状提出19社）をし、総会が成立していることが確認されました。

議長が議事録署名人2人（三和生薬株式会社・岡田氏、株式会社タスク・菅沼氏）を指名したのち、第1号議案「平成26年度事業報告」と第2号議案「平成26年度収支決算報告」が一括上程され、栄谷監事の監査報告の後、慎重に審議された結果、原案どおり承認されました。

続いて第3号議案「平成27年度事業計画（案）」と第4号議案「平成27年度収支予算（案）」についても同様に原案どおり可決されました。

最後に、公務のため遅れて出席された森川薬務課長の祝辞を頂いて、総会は終了し、その後、優良従業員表彰の受賞者の記念撮影を行いました。



松谷会長あいさつ



森川薬務課長祝辞

優良従業員表彰受賞者一覧（敬称略）

勤続 30 年以上

シミックCMO足利(株)	高橋 俊行
持田製薬工場(株)	曾根 茂夫
持田製薬工場(株)	杉村 博康
興和(株)	粕谷 美智子
興和(株)	仲島 恵美子
興和(株)	岡田 美保子
シミックCMO足利(株)	南里 裕之
持田製薬工場(株)	平澤 幸彦
不二ラテックス(株)	榎戸 朗
グラクソ・スミスクライン(株)	倉沢 正之
不二ラテックス(株)	小川 勝次
栄研化学(株)野木工場	松葉 千秀
(株)シーボン	長谷川 浩

勤続 20 年以上

ジェーピーエス製薬(株)	細野 カツ江
ジェーピーエス製薬(株)	沼尾 信子
グラクソ・スミスクライン(株)	手塚 憂子
(株)シーボン	赤木 幸夫
(株)シーボン	横倉 三治
富士フィルムオブティクス(株)	山口 靖幸

勤続 10 年以上

グラクソ・スミスクライン(株)	伴内 聡
(株)カナエ	栃木 真紀子
(株)カナエ	天満屋 宏美
(株)タスク	池澤 宜弘
(株)タスク	新村 恵美
(株)タスク	高久 敦子
(株)シェフコ	茅原 証
(株)シェフコ	奥澤 新吾
(株)シーボン	中里 文子
(株)シーボン	齋藤 匡宏
(株)タスク	大山 賢治
日本プロテイン(株)	太田 雅洋

■平成 27 年度 事業計画

定期総会で可決された平成 27 年度の事業計画は次のとおりです。

- 1 会議の開催（定期総会（優良従業員表彰式）、理事会を開催する。）
- 2 講習会・研修会の開催（県との共催で、GMP等に関する研修会を開催し、薬事衛生思想の普及向上を図る。）
- 3 国及び県からの通知・通達の周知（医薬品医療機器等法などの法令に関する通知について、会員への周知を図る。）
- 4 申請・届出書類等の様式の配布（薬事関係の申請・届出等に必要の様式を会員へ配布する。）
- 5 薬用植物の普及啓発（県が開催する薬草教室に協賛し、薬用植物の正しい知識について啓発を行う。）
- 6 栃木県公衆衛生大会・学会への協賛・参加（栃木県公衆衛生大会に協賛するとともに、同時に開催される公衆衛生学会において会員の研究発表を行う。）
- 7 学生の工場見学会の開催（医薬品・医療機器等についての認識を深めてもらうため、県内の理工系・医療系学生による工場見学会と懇談会を開催する。）
- 8 優良施設の視察研修（医薬品・医療機器等の製造工場の視察研修を行い会員の資質向上に努める。）
- 9 くすりと健康の週間における行事の開催（毎年 10 月に開催されるくすりと健康の週間における行事（薬の展示・相談会）を開催し、医薬品・医療機器等の重要な役割について啓発活動を行う。）
- 10 会報の発行（「栃薬工だより」を定期的に発行し、会員への情報提供を図る。）
- 11 災害時における避難所配置用医薬品等の備蓄（県と締結している「災害時における物資の供給協力に関する協定」に基づき、災害発生時に避難所等において必要な医薬品等を備蓄する。）
- 12 その他（その他、必要な事業について、理事会の決議を経て実施する。）

■平成 27 年度 収入支出予算

定期総会で可決された平成 27 年度一般会計予算は次のとおりです。

収入の部

科 目	予算額
1 会 費	5,090,000
2 県からの受託金	0
3 事 業 収 入	70,000
4 雑 収 入	47,676
5 繰 越 金	153,324
収 入 合 計	5,361,000

支出の部

（単位円）

項 目	予算額
1 会議費	450,000
1 定期総会	330,000
2 理事会等	120,000
2 事務費	2,300,000
1 職員費	1,960,000
2 事務費	330,000
3 事務局活動費	10,000
3 事業費	2,233,000
1 研修会費	1,500,000
2 表彰費	230,000
3 啓発費	283,000
4 会報発行費	220,000
4 負担金	220,000
1 事務所負担金	200,000
2 各種協議会等	20,000
5 記念大会等準備積立金	0
6 予備費	158,000
支 出 合 計	5,361,000

新役員あいさつ

新たに就任された理事・監事の方々からご挨拶をいただきました。

シミックCMO足利株式会社 堀江 秀明 様(理事)



この度、前任の三谷から引継いで、栃木県薬事工業会の理事を務めさせていただくことになりましたシミックCMO足利(株)の堀江です。

弊社・シミックグループは、CRO(医薬品の開発業務支援事業)からスタートして、現在では医薬品の研究開発(IPD)から製造(CMO)・販売(CSO)まで製薬企業のバリューチェーンを総合的に支援する会社です。その中で、当社はCMO(医薬品製造支援事業)を担う重要な国内拠点の一つとして2014年に田辺三菱製薬工場(株)から譲渡いただき現在はシミックCMO足利(株)として操業しています。注射剤を中心とした工場として発展させていく所存で、2018年には新棟の建設も進めています。

また、私個人は富士フィルム(株)で医薬品以外の生産にも長年携わる中で各種産業の栄枯盛衰も経験してきました。医薬品業界を違った視点でも見る事が出来ると良いと思っています。

今後も薬事工業会発展のため、微力ではありますが理事としての役目を果たしてまいりますので、何卒、宜しくお願いします。

久光製薬株式会社 前田 栄治 様(理事)



この度、前任の田中から引き継いで理事を務めさせて頂くことになりました、久光製薬株式会社宇都宮工場 工場長の前田栄治です。

弊社宇都宮工場は、1987年清原工業団地に工場を構え操業開始以来、鎮痛消炎貼付剤を中心とした医薬品の提供を通して人々の健康づくりに取り組んで参りました。また、これからお客様が安心して使用して頂ける商品を持続的に提供できるよう努めて参ります。

これまで、栃木県薬務課、監督官庁及び薬事工業会会員の皆様には、日頃から多大なご指導、ご支援を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

微力ではございますが薬事工業会の各種事業の推進に一生懸命務めてまいりたいと思います。前任者同様、皆様方の御指導、御鞭撻を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

花王株式会社 高橋 英哉 様(監事)



この度、前任の稲見から引き継いで栃木県薬事工業会の監事を務めさせて頂くことになりました、花王株式会社栃木工場の高橋です。

弊社栃木工場は、1975年12月1日に花王の国内6番目の工場として芳賀郡市貝町に設立され、現在ではサニタリー製品の子供用紙おむつメリーズや女性用生理用品のロリエ、ホームケア製品のトイレクイックル等の製造を行っております。

これまで薬務課並びに薬事工業会の皆様には、多大な御指導・御鞭撻を賜っております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今後も栃木県薬事工業会発展のため、微力ではございますが監事としてご協力させていただき、少しでもお役に立てればと思っております。

よろしくお願いいたします。

全薬工業株式会社 諏訪 智士 様(監事)



この度、前任の若目田から引き継ぎ、栃木県薬事工業会の監事を務めさせて頂くことになりました『かぜにジキニン』でお馴染みの全薬工業株式会社栃木工場の諏訪です。

弊社栃木工場は1985年に操業を開始し30年となりました。操業以来、医療用医薬品、OTC医薬品、医薬部外品、化粧品等幅広く製造を行っております。

栃木工場は、製薬メーカーに求められる多様性を実現させたラインを有し、「安全第一・品質第一」をモットーに、研究・開発部門が確立した薬効と安全性を正確に製品化し、市場へと送り出しています。

これまで薬務課、薬事工業会の皆様には多大なるご指導、ご鞭撻を賜っております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

今後も、薬事工業会の発展のため、微力ながら監事としての職務を果たして参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

平成27年度 栃木県薬事工業会役員一覧（敬称略）

平成27年11月1日現在

役職名	氏 名	会 社 名	役職名	氏 名	会 社 名
会 長	松谷 正光	マニー(株)	理 事	竹内 雄一	グラクソ・スミスクライン(株)
			理 事	三上 直子	(株)シーボン
副会長	阿部 克司	栄研化学(株)	理 事	堀江 秀明	シミックCMO足利(株)
副会長	富永 英夫	ジェーピーエス製薬(株)	理 事	金沢 孝基	中外製薬工業(株)
副会長	小野塚 文雄	不二ラテックス(株)	理 事	畑中 昭徳	東芝メディカルシステムズ(株)
			理 事	神山 尚之	(株)ナカニシ
監 事	高橋 英哉	花王(株)	理 事	木幡 康則	日本サーファクタント工業(株)
監 事	栄谷 治	興和(株)	理 事	前田 栄治	久光製薬(株)
監 事	諏訪 智士	全薬工業(株)	理 事	柳堀 和生	フォルテグロウメディカル(株)
			理 事	小山 定利	持田製薬工場(株)

事務局（薬務課職員）の転入・転出

転 出			転 入		
役職名	氏 名	転 出 先	役職名	氏 名	前 所 属
参事兼所長	高山 尚志	保健環境センター	薬務課長	森川 博夫	県南健康福祉センター
次長兼総務 福祉部長	斎藤 篤雄	県南健康福祉センター	課長補佐（総括）	加藤 治	栃木健康福祉センター
地域保健部長補佐兼 生活衛生課長	小林 由典	県北健康福祉センター	課長補佐	西宮 律子	保健福祉課（宇都宮市派遣）
課長補佐	林 恭子	薬務課温泉・薬物対策担当	副主幹	永井 伴幸	県東健康福祉センター
主任	浦島 昌久	国保医療課	主査	加藤 貴央	県西健康福祉センター兼今 市健康福祉センター
主任	長南 菜津子	とちぎリハビリテーションセンター	技師	坪山 沙有里	とちぎリハビリテーションセンター

第53回栃木県公衆衛生学会

平成27年9月4日（金）、第53回栃木県公衆衛生学会が、宇都宮市内の栃木県総合文化センターで開催されました。

この学会において、東芝メディカルシステムズ株式会社様、株式会社ナカニシ様、全薬工業株式会社様の計3社が、森川薬務課長の座長のもと、それぞれの日頃の業務に係る成果を発表されました。活発な質疑応答が行われ、非常に充実した学会となりました。

「医療機器におけるリスクマネジメント （安全性確保の取り組み）」

東芝メディカルシステムズ株式会社 市川 敏夫 様



「医療機器メーカーとしてのモノづくり基本取り組み」

株式会社ナカニシ 高橋 広典 様



「工場における災害対策の取り組み事例」

全薬工業株式会社 清水 大祐 様



「県内医療・理工系学生のための工場見学会」開催

平成17年度から、薬事工業会事業として、県内の医療・理工系学生を対象に医薬品や医療機器等の製造工場の見学会を開催しておりますが、今年度は、手術用縫合針や歯科治療機器及び眼科治療機器などの医療機器メーカーであるマニー株式会社様の御協力を得て、9月8日（火）に開催いたしました。

今回は、足利工業大学、宇都宮大学の学生及び関係者合わせて17名が参加しました。

JR宇都宮駅東口のホテルマイステイズに12時に集合し、2階のカフェレストランで昼食をとった後、マニー株式会社に向かい、13時半頃到着しました。

本会議室にご案内いただき、工場見学会が始まりました。まず、薬事工業会の松谷会長がごあいさつし、続いて参加者の紹介がありました。

その後、マニー株式会社の特別顧問としてのお立場で、松谷会長からの歓迎の言葉を頂き、引き続き、同社の沿革・事業内容や製品についてのご紹介がありました。そして、品質世界一の製品づくりの姿勢についてお話をいただき、2班に分かれて、広い工場内を見学いたしました。製造エリアごとに、同社の担当者の方から分かりやすい説明があり、見学中の質問にも丁寧にお答えいただきました。

展示コーナーでは、アイレス縫合針や眼科用ナイフなど、普段見ることができない医療機器を間近に見ることができました。

見学後に意見交換が行われ、松谷会長様からは、「学生の皆さんには、ぜひ夢を持って夢にチャレンジしてほしい」との励ましの言葉がありました。

参加者からは、「世界120カ国以上の医療現場で使用されていることに驚いた」、「常に世界一の品質を目標に、努力し成長を続けていることは素晴らしいと思う」といった意見があり、終了時に行ったアンケートでも、全員がとても良かったとの回答でした。

結びに、薬事工業会の富永副会長が御礼の言葉を述べ、大変有意義な見学会は午後4時に終了しました。窓から眺めの良い風景を望める場所で記念撮影をさせていただき、同社を後にしました。

最後に、今回の事業を快く承諾していただいたマニー株式会社の皆様には多大なる御協力を賜りました。紙面をお借りして、厚くお礼申し上げます。



松谷会長



■ 優良施設視察研修会

平成 27 年度の優良施設視察研修会は、10 月 9 日（金）、福島県内にある医療機器製造工場と医薬品製造工場の 2 施設を訪問いたしました。会員が 23 社から 41 名及び事務局 2 名の計 43 名の参加でした。晴天の中、午前 7 時 30 分に貸切バスで宇都宮駅東口を出発し、宇都宮 IC から高速に乗り、福島県を目指しました。東北自動車道を矢吹 IC で降り、最初の視察先である『ニプロファーマ株式会社鏡石工場』（福島県岩瀬郡鏡石町岡ノ内 428 番地）に到着しました。会社概要・事業内容の説明を受けた後、4 班に分かれての工場見学となりました。

ニプロファーマ株式会社は、注射剤、経口剤、外用剤を含むあらゆる剤形をカバーするオールランド型受託製造としての地位を確立しており、この鏡石工場は、経口剤の主力工場となっております。

2011 年 3 月 11 日の東日本大震災では甚大な被害を受けましたが、発生直後から復旧工事が開始され、同年 9 月 1 日には完全復旧となったとのことでした。短期間での復旧は驚異的であり、並々ならぬ工場関係者の熱意が伝わってきました。

同社の担当者の方に説明をいただきながら第二固形剤棟を見学したのち、意見交換会でも様々な質問に丁寧に答えていただきました。

最後に工場正門前で記念撮影をして、工場を後にしました。



ニプロファーマ株式会社

昼食は、須賀川にある「和可松（わかまつ）」でお弁当をいただき、福島県薬事工業協会の事務局兼会長会社で、午後の視察先である『ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社須賀川事業所』（福島県須賀川市大桑女坂 1 番地）に向かいました。

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社は、世界最大のトータルカンパニーとして消費者向け製品、医療機器、医薬品の分野で製品を提供しており、この須賀川事業所は、約 18 万㎡（東京ドーム 4 個分）の広大な敷地にあり、メディカルカンパニーとして、主に手術用医療機器の包装表示、内視鏡で使用する器具の修理や内視鏡洗浄消毒剤などを製造しております。また、内視鏡研修センターがあり、大勢の医師が全国から訪れるということです。

まず、同社の会議室に案内いただき、会社紹介、オリエンテーションを受けました。

その後、2 班に分かれて、工場内を見学させていただきました。その厳しい製造管理・品質管理は、社員一人ひとりの行動規範「我が信条（Our Credo）」が引き継がれ、同社の企業精神を感じさせるものでした。

最後に、広々とした環境の中で、記念撮影をさせていただきました。



ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

今回の優良施設視察研修会では、ニプロファーマ株式会社鏡石工場様、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社須賀川事業所様ともに、お忙しいところ視察をご快諾くださり、また、当日は皆様に懇切丁寧にご対応いただきました。

この紙上をお借りして厚く御礼申し上げます。